

# みやぎのだより

No. 128

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

令和4年5月16日



2022・2023年度ミルクレディー

## CONTENTS

令和3年度 生乳需給状況について……………	1	飼料情勢……………	8
令和4年度 組合事業の内容について……………	3	Dairy Farmer ～佐々木牧場の働き者達～……………	9
令和4年4月以降の新型コロナウイルス感染症 に係る組合の対応について……………	5	酪農後継者等育成支援……………	10
停電と断水に備えた対策について……………	6	理事会通信……………	10
飼料用とうもろこし「茎葉処理剤」の使用方法和 特徴……………	7	人事のお知らせ……………	10
		売りたいし、買いたいし……………	11
		編集後記……………	11

# 令和3年度 生乳需給状況について

## 1. 全国

令和3年4月～3月の受託乳量は7,234,672㍓、前年同期比102.4%と前年を上回っております。地域別には、4月～3月計で北海道は3%増加となっており、都府県においても1%増加で推移しております。

生乳生産量が好調に推移している一方で、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、外出自粛等による業務用需要が低迷し需給が緩和となり、特に年末年始及び年度末に係る不需要期の処理不可能乳発生が危惧されましたが、乳業メーカーと生産者団体が連携し、業界を挙げての消費拡大や乳製品の増産等により、需給ギャップを埋める努力が功を成し生乳廃棄を回避することが出来ました。

### 令和3年度 全国生乳受託実績

(単位:㍓、%)

地区名	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		令和3年度計	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比		
北海道	1,040,615	102.2	1,036,465	102.9	1,026,903	104.2	1,031,879	103.6	4,135,862	103.2
都府県	812,471	101.2	743,782	102.1	760,854	101.4	781,702	100.3	3,098,810	101.2
全国	1,853,086	101.7	1,780,247	102.6	1,787,758	103.0	1,813,581	102.2	7,234,672	102.4

## 2. 東北

4月～3の受託乳量は501,699㍓、前年同期比99.4%となっております。

### 令和3年度 東北生乳受託販売実績

(単位:㍓、%)

県	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		令和3年度計	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比		
青森	18,111.5	94.5	17,717.2	95.7	17,994.9	98.0	18,289.8	105.4	72,113.4	98.2
岩手	49,209.1	100.2	46,901.5	99.3	46,399.3	97.8	46,510.3	97.8	189,020.2	98.8
宮城	28,053.6	99.2	26,388.2	99.8	26,348.2	98.9	26,797.2	99.0	107,587.3	99.2
秋田	5,977.0	98.4	5,586.3	101.3	5,543.2	101.8	5,699.0	100.5	22,805.4	100.4
山形	12,856.4	100.5	11,563.2	99.1	11,787.7	100.6	12,597.2	104.4	48,804.5	101.2
福島	15,845.1	99.7	14,966.0	101.3	15,151.4	102.0	15,406.1	102.5	61,368.6	101.3
計	130,052.8	99.0	123,122.4	99.2	123,224.7	99.0	125,299.6	100.5	501,699.4	99.4

## 3. 用途別販売実績

東北の用途別販売実績は、4月～3月の飲用牛乳向け358,729㍓、前年同期比99.3%、特定乳製品向け55,860㍓、前年同期比116.3%となっております。その他の用途別については、はっ酵乳等向け79,113㍓、前年同期比98.4%、生クリーム等向け6,349㍓、前年同期比96.7%、チーズ向け1,646㍓、前年同期比93.1%となっております。

### 令和3年度 東北用途別販売実績

(単位:㍓、%)

用途	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		令和3年度計	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比		
総受託販売乳量	130,052.8	99.0	123,122.4	99.2	123,224.7	98.6	125,299.6	100.5	501,699.4	99.3
飲用牛乳向け	92,891.9	101.7	89,665.3	95.0	89,658.3	95.4	86,514.4	97.4	358,729.9	97.4
	21,651.6	99.4	19,220.9	94.9	18,867.2	100.7	19,373.9	98.7	79,113.6	98.4
特定乳製品向け	13,714.2	83.5	12,292.1	166.3	12,253.0	126.0	17,601.3	121.3	55,860.6	116.3
	1,377.0	95.5	1,540.6	98.8	2,008.1	92.5	1,423.4	102.0	6,349.1	96.7
チーズ向け	418.0	102.7	403.4	78.4	438.1	96.5	386.6	98.4	1,646.2	93.1

### 4. 宮城県

4月～3月の受託乳量は107,587㌧、前年同期比99.2%と前年より0.8%減少しております。  
また、3月の出荷戸数は393戸と前年より34戸減少しております。

令和3年度 宮城県生乳受託販売実績

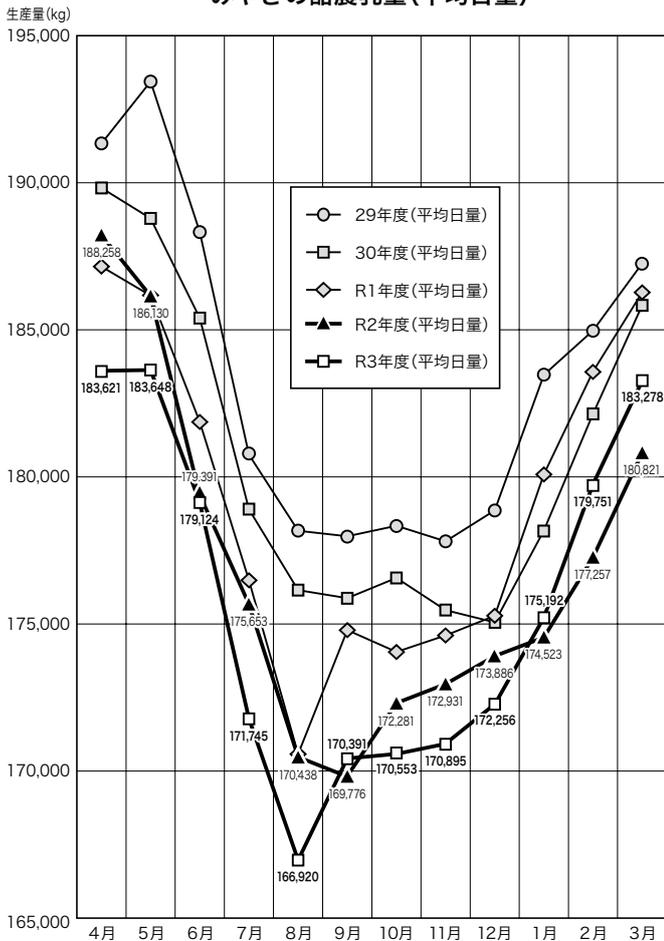
(単位:㌧、%)

団体名	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		令和3年度計	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比		
みやぎの酪農	16,546	98.7	15,588	98.9	15,702	99.2	16,061	100.7	63,897	99.4
全農 宮城	4,444	101.4	4,066	98.1	3,963	95.6	4,054	94.2	16,527	97.4
宮城酪農	7,063	98.9	6,734	103.3	6,684	100.2	6,682	98.0	27,163	100.1
宮城県	28,054	99.2	26,388	99.8	26,348	98.9	26,797	99.0	107,587	99.2

### 5. みやぎの酪農(バルク乳量)

4月～3月の受託乳量は64,085㌧、前年同期比99.3%と0.7%減少しております。また、3月の出荷戸数は226戸と前年より21戸減少しております。

みやぎの酪農乳量(平均日量)



令和3年度生乳生産実績(4月～3月 標準進捗率100%)

(単位:kg、%)

支 部 名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	生乳出荷目標数量	進捗率
白石・七ヶ宿支部	22	8,574,817.7	8,900,244.5	96.34	8,965,839.0	95.64
蔵王支部	24	8,744,025.5	8,631,427.1	101.30	8,879,064.0	98.48
柴田支部	13	3,836,606.0	4,090,046.0	93.80	3,937,489.0	97.44
伊具支部	16	4,512,711.0	4,812,482.0	93.77	4,737,268.0	95.26
仙台支部	11	3,785,631.3	3,534,241.6	107.11	3,570,877.0	106.01
名取支部	5	747,553.0	820,431.0	91.12	843,970.0	88.58
黒川支部	6	968,134.0	1,066,723.0	90.76	1,023,825.0	94.56
大崎支部	18	3,391,174.0	3,422,979.0	99.07	3,521,184.0	96.31
遠田支部	14	7,413,110.0	6,346,539.0	116.81	6,501,185.0	114.03
加美支部	9	1,881,613.0	2,397,697.0	78.48	2,466,487.0	76.29
鳴子支部	8	1,858,153.0	2,046,989.0	90.77	1,952,610.0	95.16
栗原支部	29	6,406,389.0	6,331,600.0	101.18	6,510,239.0	98.40
登米支部	23	7,340,009.0	7,119,178.0	103.10	7,311,753.0	100.39
本吉支部	13	1,520,915.0	1,692,045.0	89.89	1,740,591.0	87.38
石巻支部	5	728,016.0	908,579.0	80.13	811,629.0	89.70
豊里支部	10	2,376,468.0	2,398,323.0	99.09	2,460,990.0	96.57
みやぎの酪農	226	64,085,325.5	64,519,524.2	99.33	65,235,000.0	98.24

※出荷戸数については、直近の数字です。

# 令和4年度 組合事業の内容について

## 販売課

### ● 令和4年度生産基盤維持対策事業【継続】

目的：生乳生産基盤強化により経営安定及び生乳の安定供給を行うため、生産基盤維持対策事業を実施します。

内容：令和1年度から令和3年度の生乳生産乳量の3ヶ年の平均出荷乳量を基準として、平均出荷乳量を上回った分に対し3円/kgを奨励します。

### ● 令和4年度良質乳生産対策奨励金交付事業【継続】

目的：消費者の「食の安全・安心」に対する関心の高まりから、組合員として良質乳生産が求められているため、良質乳生産確保のために奨励金交付事業を実施します。

内容：月2回(上旬・下旬)の配分検査において、基準値(脂肪率3.5%以上・無脂固形分率8.4%以上・細菌数10万/ml未満・体細胞数30万/ml未満)を年間通してクリアした組合員に対して、出荷乳量に応じて0.4円/kgを交付します。

### ● 令和4年度酪農経営支援対策事業【新規】

目的：生乳の需給緩和により乳価が低下していることに加えて、飼料や燃料など生乳生産資材の増高等により、酪農経営を圧迫していることから、組合員負担の一部を支援し酪農経営の安定を図ります。

内容：組合員の負担の一部を四半期毎に0.30円/kg(奨励原資に不足が生じた場合は調整)を支援します。

### ● 乳質改善共励会【継続】

目的：新鮮で良質な生乳を乳業者に供給すると共に、生乳の広域流通にも対応し得る乳質向上により、生乳の有利販売に繋げることを目的に共励会を実施します。

内容：バルク乳(4月1日～3月31日までの12ヶ月間)の検査成績により採点し、4月から3月までの生乳検査成績24回に基づき、配点表による得点により審査します。また、審査の結果、同点の場合には開催期間中の生乳出荷乳量の多い生産者を上位とします。

入賞者への褒章等：入賞者への褒章等については賞状・賞金等の授与を行います。

【入賞者への褒章等】

最優秀賞	1名	賞状・賞金 10万円
優秀賞	3名	賞状・賞金 7万円
優良賞	6名	賞状・賞金 5万円
努力賞		賞状・賞金 3万円

※努力賞は最優秀、優秀、優良賞以外の審査基準を年間通しクリアした生産者。

※賞金については、金額相当の購買品利用券を贈呈する。

【乳質改善共励会 配点表】

項目	基準	配点
細菌数	1万未満	10
	1万～3万未満	7
	3万～6万未満	5
	6万～10万未満	2
細胞数	10万未満	10
	10万～15万未満	7
	15万～20万未満	5
	20万～30万未満	2
脂肪率	4.0%以上	10
	3.9%～4.0%未満	7
	3.8%～3.9%未満	5
	3.5%～3.8%未満	2
無脂固形分率	8.9%以上	10
	8.7%～8.9%未満	7
	8.5%～8.7%未満	5
	8.4%～8.5%未満	2

## 購買課

### ● 良質自給飼料生産確保対策(草地簡易更新事業)【継続】

目的：近年の猛暑、大雨、台風の自然災害の発生や、震災後の除染から数年経過しており裸地や雑草が増えている状況です。このことから良質な粗飼料の増産と確保、粗飼料基盤の強化を目的に事業を継続します。

内容：正組合員を対象に春と夏の2シーズンに簡易更新機の貸出を行います。  
希望者が多い場合はまとまった面積のある方を優先します。  
利用料は1ha当たり5,000円(税別)とします。

### ● 購買品季節の支援対策【継続】

目的：夏場の猛暑による乳量の減少や乳質の悪化、また、冬場の寒さによる子牛の体調管理や事故防止を目的に、その季節に役立つ資材を紹介、供給します。

内容：夏場…重曹、ビタミンミネラル剤等のキャンペーン(5月～10月)  
冬場…子牛用防寒着等のキャンペーン(11月～12月)

### ● 配合飼料利用に対する支援【継続】

目的：配合飼料の利用量別に応じた奨励措置を行い、購買事業の継続利用を目的に支援します。

内容：組合から供給する乳配、育成、乾乳用配合の前月購入量に応じた奨励措置を行うものとします。

奨励単価(税別)	前月購入量	
	① 5 t～10 t 未満	500円
	② 10 t～15 t 未満	800円
	③ 15 t～25 t 未満	1,000円
	④ 25 t 以上	1,500円

## 指導課

### ● 乳房炎ワクチン接種助成事業【継続】

目的：酪農の生産現場で、乳牛の乳房炎は長年問題となっており、経営の損失が最も大きく、そのコントロールが難しい疾病です。

初妊牛への乳房炎ワクチン接種を行うことにより、乳質と収益の向上を目的として実施します。

内容：初妊牛への乳房炎ワクチン接種後、助成交付申請書等(初妊牛と乳房炎ワクチン購入が確認できる書類)を組合へ提出してください。

1頭1回当たりの助成金は1,000円とし、3,000円を上限とします。

### ● 良質乳対策事業(バルク乳スクリーニング検査)【継続】

目的：4月より乳質自主規制の見直しにより、格差金が増額することが予想されます。この状況を軽減するため、バルク乳スクリーニング検査を行い、原因菌を確認でき乳質改善への情報が得られ、安定した収入確保のために実施します。

内容：年度内4回のバルク乳を採取し、検体を共済組合にてスクリーニング検査を実施します。  
1回当たりの助成金額は1,000円とし、3,000円を上限とします。

### ● 雌雄判別精液(Sort90)助成事業【継続】

目的：酪農経営における安定的な収益性の確保は、生乳の効率的な生産が重要であることから、優良な後継牛の安定的な確保のために実施します。

内容：自己所有の乳用種に判別精液(Sort90)を授精後、交付申請書と授精証明書の写しを組合へ提出してください。

1頭1回あたりの助成金額は3,000円とします。

# 令和4年4月以降の新型コロナウイルス感染症に係る組合の対応について

指導課

酪農家の皆様の健康を守り、生乳生産活動の継続を図ることが重要であるとの観点から、令和4年6月まで引き続き支部、青年部及び婦人部等の活動自粛対応を継続いたします。また、職員の農家訪問についても同様に自粛させていただきます。

何かとご不便をお掛けしますが、感染症防止のための活動の自粛についてご理解とご協力をお願いします。

## 対策の全体像

### ①現状

- ・全国の新規感染者数は、オミクロン株による第6波のピークを越えたものの減少スピードは穏やかで、2021年夏の緊急事態宣言が出されたときのピーク時2倍と多い状況が続いている。
- ・直近においては、増加傾向である。
- ・これから春休みや連休、年度替わりなどで人の接触が増えることにより感染力の高いBA.2系統のウイルスに置き換わりが進むこと等の増加状況を注視する必要がある。
- ・酪農家においては、マスクなしでの会話も見受けられる。
- ・今年に入り酪農家での感染者・濃厚接触者が発生し、酪農ヘルパーを派遣して対応している。

### ②酪農における特殊事情等

- ・酪農家で感染者・濃厚接触者が発生した場合、生乳生産活動を継続するために代替要員として酪農ヘルパーを派遣して対応している。
- ・しかし、組合員組織など酪農家が複数集まる場において感染者・濃厚接触者が発生した場合、酪農ヘルパーでは対応しきれない状況になってしまう。
- ・最悪の場合は生乳の廃棄といった状況も想定される。

最後に、感染症対策には、お一人お一人のマスクの着用、手洗いや3密を避ける等が重要でありますので、基本的な感染症対策に努めてくださいますよう引き続きご協力をお願いします。



昨今、自然災害が頻発し、甚大な被害が発生しています。このことから、被害に備えた対策を、日頃より準備し、想定しておくことが必要不可欠です。

停電と断水に備えた次の対策を確認しましょう。

## ○停電に備えた事前準備

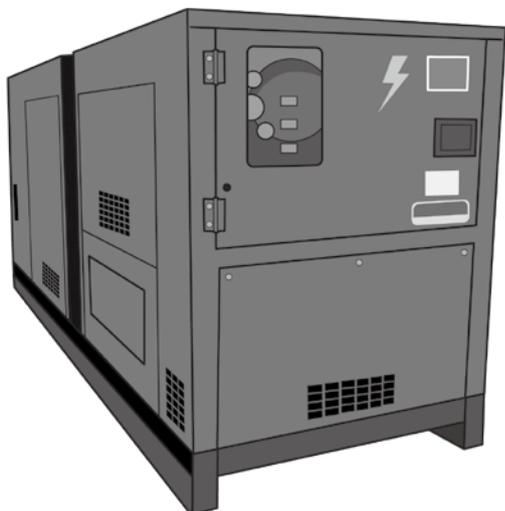
- 酪農を継続するために必要な電力量の把握（搾乳・生乳冷却・扇風機・給餌器等）
- 適正な能力を持った自家発電機の導入
- 燃料の確保（1週間分以上）
- 発電機の試運転を定期的に行う

## ○断水に備えた事前準備

- 地域の井戸や、湧き水等の水源を確認
- 1日当たりの必要な水量の把握（飲水・洗浄用等）
- 貯水タンクの準備
- 停電時でも使用できる給水ポンプの準備

## ○停電時及び断水時の注意事項

- 生乳をやむを得ず廃棄する際は、環境に配慮した適正な対応を行う
- 断水が復旧した際の水は、異物を巻き込んだ水が流れる可能性があるため、水質を確認してから使用する
- 生乳出荷を再開する場合は、集乳前に必ず確認検査を行う



# 飼料用とうもろこし「茎葉処理剤」の使用方法と特徴

購買課

宮城県において、飼料用とうもろこし(デントコーン)は4月中旬から6月上旬ごろまでが播種時期で、早い畑では5月下旬ごろから茎葉処理剤の散布時期となります。

茎葉処理剤は雑草の発生を見て利用でき、効果がわかりやすいのが特徴です。時期を逃さず、適切に使用することで収量の増加、品質向上につながります。

下記に普及している薬剤の特徴をご案内いたします。ご参考になりましたら幸いです。

農薬の名称	作物名	適用雑草名	使用時期	薬量/10a	希釈水量/10a
アルファード液剤 500ml/本、3L/缶	飼料用とうもろこし	一年生雑草	とうもろこし 3～5葉期 ただし収穫45日前まで	100～150ml	100～150L
			とうもろこし 6～7葉期 ただし収穫45日前まで	150ml	

主要な雑草への効果が高く、とうもろこしへの薬害が少ないため多く利用されています。  
ヒエなどイネ科雑草への効果を高めるため、150ml/10aでの使用を推奨します。イチビ、イヌホウズキ、シロザなど多発する広葉雑草や、近年増えているオオブタクサにも強い効果を示します。  
土壌処理効果はありません。ゲザプリムフロアブルを混用すると効果が高まることが知られています。  
(例:アルファード液剤 150ml/10a+ゲザプリムフロアブル 100～150ml/10a 等)

農薬の名称	作物名	適用雑草名	使用時期	薬量/10a	希釈水量/10a
ゲザプリムフロアブル 1L/本	飼料用とうもろこし	一年生雑草	播種後～とうもろこし 2～4葉期まで	100～200ml	50～100L

広葉雑草に対して効果が高く、土壌処理剤としても使用されます。  
※土壌処理で先に使用した場合、茎葉処理では使用できませんのでご注意ください。(2回は使えません)

農薬の名称	作物名	適用雑草名	使用時期	薬量/10a	希釈水量/10a
シャドー水和剤 100g/袋	飼料用とうもろこし	一年生雑草および 多年生広葉雑草	一年生および多年生 広葉雑草 2～5葉期 (とうもろこし3～5葉期)	50～75g	100L

イチビと、他の薬が効きにくいカヤツリグサ、キハマスゲ等に強い効果があります。他の薬剤との混用については薬害のおそれがありますのでご相談ください。

農薬の名称	作物名	適用雑草名	使用時期	薬量/10a	希釈水量/10a
ブルーシアフロアブル 500ml/本	飼料用とうもろこし	一年生雑草	とうもろこし 3～5葉期 ただし収穫45日前まで	45～50ml	50～100L
			とうもろこし 6～7葉期 ただし収穫45日前まで	50～75ml	100～150L

一年生雑草への効果が高く、薬害が出にくい薬です。また、薬量が少ないのも特徴です。

農薬の名称	作物名	適用雑草名	使用時期	薬量/10a	希釈水量/10a
ワンホープ乳剤 500ml/本	飼料用とうもろこし	一年生雑草	とうもろこし 3～5葉期 ただし収穫30日前まで	100～150ml	70～100L

一年生雑草のほか、シバムギ、レッドトップなどの多年生イネ科雑草に効果があります。  
品種によって薬害が出る場合があるので、予め適用品種一覧をご確認ください。また高温、乾燥など植物がストレスを受けている状態での使用や、他の薬剤との混用は避けてください。

## 北米コンテナ船情勢

ロサンゼルス港及びロングビーチ港沖合におけるコンテナ本船の滞船数は、1月のピーク時の半分以下まで減少しており、スケジュールも改善傾向にあります。1カ月程度かかっていた日本までの航海日数も直近では25日前後となっています。

また混乱が続いていたアルファ、チモシーが多く出荷されている北米西岸部の主要港も改善の兆しが見えています。カナダのバンクーバー港では引き続き滞船が続いているものの、減便していた日本向けの本船数も徐々に回復し、3月に入り出荷数量は増加しており、年末年始に直面した最悪期は脱した感があります。

一方で積替港である上海・釜山・高雄・台北等では混雑が続いています。10日から3週間程度、積替港でコンテナが滞留しているため、地方港向けを中心に引き続き不安定な入船状況になっています。

今年は北米西岸港湾労組と船社・ターミナル会社の使用者団体間で労働協約更新の年となります。7月1日の契約満了に先駆け、5月12日から交渉が開始される予定ですが、交渉が難航し長期化すると、前回2014-15年の労使交渉時のような西海岸全域の港湾混雑につながる恐れがあるため、交渉経過には注視が必要です。

## 輸入粗飼料

### ①アルファルファ (ワシントン産)

21年産の産地在庫は成約済みとなっており余剰在庫はない状況です。

主産地のワシントン州コロンビアベースンでは、5月から1番刈の収穫が本格化する見込みです。昨年来、相場が堅調なことから生産者によっては作付面積を増加させています。

### ②チモシー (US産)

22年産の作付面積はワシントン州では概ね昨年並みも地域によっては若干減少しています。減少した地域では換金性の良いトウモロコシや小麦などに転作されているようです。アイダホ州では昨年並みの作付面積が予想されています。1番刈の収穫は6月より順次開始されますが、非灌漑で栽培するアイダホ州では生育期の降雨が望まれています。

### (カナダ産)

主産地であるアルバータ州クレモナ地区及びレスブリッジ地区における22年産の作付面積はほぼ前年並みと予想されています。一方で肥料価格が高騰しているため、生産者によっては施肥量の抑制を考慮しており、単収への影響が懸念されています。加えて産地では早魃の続くことが予想されており、チモシーだけでなく、自給粗飼料においても低単収となることが危惧されており、生育期の降雨が望まれています。

### ③豪州産オーツヘイ

産地輸出業者によると、播種作業を前にオーツヘイの仮契約に向け生産者との間で協議が行われていますが、各生産者はオーツヘイの作付面積を減少させる見込みとなっています。肥料代や燃料代といった生産コストが高騰するなか、生産者はより換金性の高い作物に興味をもっており、ロシアによるウクライナ侵攻により、菜種や小麦の相場が高止まりしているため、オーツヘイからの転作を考えている生産者が多いようです。

## 豪州コンテナ船情勢

引き続きコンテナ不足や不安定な本船スケジュールのなか、輸出業者は船腹確保に苦慮しており、不安定な入船スケジュールが続いています。加えて海上運賃についても上昇が続いており、豪州産オーツヘイ価格を押し上げています。

## 佐々木牧場の働き者達

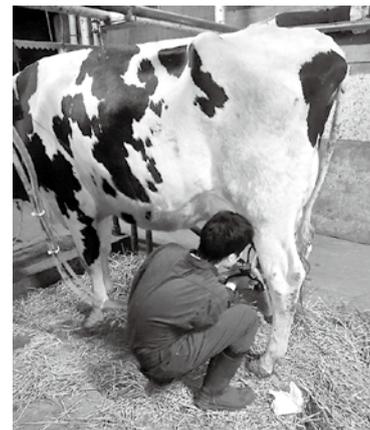
今回からシリーズ掲載する「Dairy Farmer」。新型コロナウイルスの影響で支部活動など酪農家同士の接する機会が皆無に等しい中、組合員の皆様の趣味や家族など多岐にわたる内容で紹介させていただきますので、この記事が今後の皆様の交流の礎となれば幸いです。

第1回目は、「大崎支部・佐々木一憲さん」。佐々木牧場の3人の働き者をご紹介します。

●<sup>ともぞう</sup>長男・和造くん(14歳)

「お手伝い当初は、作業工程が良く分からなかったが、今は色々覚えてきたので楽しくなってきました。搾乳ユニットも装着できるようになり作業を手伝っています。今後は削蹄の現場を見てみたいです。」と和造くん。

佐々木牧場の長男は搾乳作業までこなす、なんとも頼もしい和造くんです。

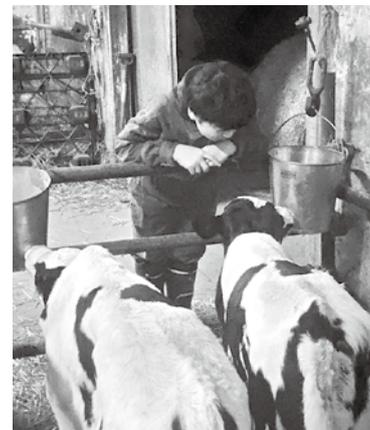


長男・和造くん

●<sup>こすけ</sup>次男・護助くん(13歳)

「新型コロナの自宅待機期間中に牛舎の手伝いをするようになり、子牛の哺乳を手伝っています。今後はトラクターの運転を早く覚えたいです。」と護助くん。

少し恥ずかしがり屋な護助くん。取材にお伺いした際に牛舎にいたので「働くパパはどう？」と問いかけると「カッコイイ!!」と誇らしげに答えてくれました。隣のパパ(一憲さん)は照れている様子でした。



次男・護助くん

●<sup>みのり</sup>長女・美野里ちゃん(11歳)

「牛舎で飼っているネコが可愛くて牛舎に行っています。仕事は少しずつ覚えていきます。」と美野里ちゃん。

和造くん、護助くんとは違って、つなぎはメーカー品。ネコを目的に牛舎へ足を運ぶ美野里ちゃんですが、給餌作業をしっかりこなします。

「食育を通して成長していく姿、また自ら率先して牛舎を手伝ってくれることに頼もしさを感じる」と一憲さん。これからの3兄妹の活躍が楽しみです。

以上、佐々木牧場の働き者達でした。

次回以降も掲載者を募集していますので「私の〇〇を紹介させて!」など、希望される方がいらっしゃいましたら、指導担当まで是非お声掛けください。



長女・美野里ちゃん

# 酪農後継者等育成支援

指導課

本組合では、後継者就農促進支援として就農祝金を贈呈しております。

令和3年度に就農された方をご紹介します。

【登米支部・千葉 幸平さん】



## 理事会通信

総務課

### 【第13回理事会】

開催日 令和4年3月30日

- 付議事項 第1号議案 令和3年度決算基準(案)について  
第2号議案 総務委員会及び業務委員会からの答申について(令和4年度事業計画(案)について)  
第3号議案 定款及び役員定年制等に関する内規の一部変更について  
第4号議案 就業規則等の一部変更について  
第5号議案 育児休業等規程及び介護休業等規程の一部変更について  
第6号議案 役員賠償責任保険への加入について(案)  
第7号議案 令和4年度借入金の最高限度の決定について  
第8号議案 令和4年度貸付金の利率の最高限度の決定について  
第9号議案 令和4年度同一人に対する信用供与(資金の貸付額、初妊牛リースの額、畜産環境整備リースの間接リースの額及び畜産近代化リースの額の合計額)の最高限度額の決定について  
第10号議案 令和4年度の余裕金運用について  
第11号議案 福島県沖地震に係る特別支援について(追加)

### 【第1回理事会】

開催日 令和4年4月28日

- 付議事項 第1号議案 監事に提供する決算書類の承認について

## 人事のお知らせ

総務課

区分	氏名	新職	旧職	発令日
正職員	菅原 久義	定年退職	指導課長	令和4年3月31日
有期職員	加藤 道代	労働契約満了	仙南支所業務係(兼)総務係	令和4年3月31日
正職員	石森 宏幸	指導課長代理	指導課長補佐	令和4年4月1日
有期職員 (定年退職者再雇用)	菅原 久義	指導課指導係	-	令和4年4月1日

## 【令和3年度産 デントコーンロール】

販売者 蔵王支部 大沼克己  
 個数 200個程度  
 価格 8,500円/個  
 補足 価格 8,500円（税込）  
 現地渡し（蔵王町七日原）



## 【初妊牛】

No.	支部	販売者	区分	分娩予定日
1	蔵王支部	小島 一也	交雑種	7月31日



### [ 編集後記 ]

旧暦・和風月名では、5月は「皐月」と呼ばれます。皐月という言葉、またこの5月という季節は、古くから農業に関係のあるものとして日本では知られています。そのため、この皐月には「早苗を植える時期」という意味があります。

この皐月という言葉をより詳しく見ていくと、昔、日本語で「さ」と言うと、農業・農耕という意味を表していました。そのため、この皐月という言葉は、そこから作られたと考えられます。このように、旧暦・和風月名の由来や意味を見ていくと、その深い世界が見えてきます。

発行 .....

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

**みやぎの酪農農業協同組合**

TEL. (0229) 34-2311 (代表)